

# 令和4年度事業報告書

## 概況

我が国の経済は持ち直しの動きはあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響や光熱費・物価高騰などの影響により、依然として厳しい状況にあります。

また、少子高齢化に伴い雇用面では今後、65歳までの定年延長、70歳までの就業機会の確保が企業に課せられ、その分人材確保が難しくなっており、知多市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の新規入会者の年齢も上昇傾向にあり、登録会員の平均年齢も上がっています。

こうした中、「第2次中期計画」の基本方針に沿って、「会員の増強」と「就業機会の拡大」を最重要課題として取り組んだ結果、会員数は前年度より36人増の527人になり、請負による受注金額は、2.2%増の177,929千円に、派遣による給与等の状況は、5.6%減の28,185千円になりました。また、センター全体の経常収支は前年度に引き続き黒字でした。

### 1 運営基盤の強化

#### (1) 理事会・委員会の充実

理事会を中心に、専門委員会（企画調整委員会、就業開拓委員会、安全・適正就業委員会）が主体的な運営に努め、計画の策定・進捗管理、受注拡大のための就業開拓、安全就業のためのパトロールに努めました。さらに、会員増強委員会を設置し、会員数の増大、資質の向上のため、いっせいボランティアの企画や健康セミナーを開催しました。

#### (2) 地域（地区）班長の役割強化

地域（地区）班長が中心となって全地域（地区）でボランティア活動を企画・実施するとともに、地域会員集会を開催し会員相互とセンターとの連絡調整を図りました。

#### (3) 戦略的な技能講習等の開催

受注の多い草刈・剪定等の屋外作業については、会員の技能向上を目的として、草刈機取扱安全講習会（2回開催、延べ21人参加）、せん定・刈込講習会（3回開催、延べ21人参加）を実施するとともに、新規会員を中心に後継者の育成に力をいれました。

また、トラブルを防止するように接遇マナー講習会を実施し、24人が参加しました。さらに、施設管理のために普通救命講習会（2回開催、13人参加）を受講しました。

#### (4) 経営基盤の確立

令和5年10月開始予定のインボイス制度について、情報収集するとともに会員への周知に努めました。

### 2 会員の確保

会員募集については、ホームページや市広報に加えて、「ちたシルバーだより」を2回、会員募集チラシの新聞折り込みを4回及び、産業まつり等のイベントやスーパー等でポケットティッシュ配布によるPR活動を行いました。また、引き続き会員勧誘の報奨制度（4年度：21人）を実施しました。

会員数は、前年度に比べ、36人増の527人（男性353人、女性174人）となり、目標の500人を上回ることができました。

### 3 就業機会の確保

#### (1) 就業開拓

新たな就業先開拓については、受注チラシの配布、就業開拓推進員・就業開拓委員による事業所訪問活動などにより、受注の拡大に努めました。その結果、契約件数は4,075件（目標5,510件、前年度4,342件）、契約金額は206,115千円（目標216,700千円、前年度203,977千円）となり、目標に達しませんでした。契約金額は前年度実績を上回ることができました。

なお、愛知県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）の職業紹介事業の知多市事務所として、高齢者に係る求人・求職に関する相談にも応じましたが、就業には結びつきませんでした。

#### (2) 独自事業の実施

会員が自家栽培したぶどうの現地販売、佐布里池梅まつりやベティさんの家旭公園桜まつり等への出店事業、手芸品の製作販売事業、おさらい教室事業に取り組みました。

### 4 労働者派遣事業

高齢者の多様な就業機会を確保するため、就業開拓推進員・就業開拓委員が市内事業所を訪問し、派遣事業のPRを図るとともに、会員に対して、就業斡旋しました。新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、給与等28,185千円（目標19,380千円、前年度29,861千円）、目標を上回ることができました。

## 5 安全・適正就業対策事業

### (1) 安全就業

安全・適正就業委員会を中心に、安全パトロール（6回実施）を実施したほか、リーダー研修会（10人参加）、安全講習会（交通安全：29人、事故防止：9人参加）の開催し、事故に対する意識啓発に努めました。4年度の事故状況は、物損事故6件（目標5件以内、前年度5件）、傷害事故7件（目標0件、前年度6件）となり、前年度より物損事故は1件増加、傷害事故は1件増加しました。

### (2) 適正就業

会員への適正就業については、適正就業ガイドラインをもとに就業形態、労働関係法令等の適用、保険加入等、入会時と地域会員集会において説明しました。就業紹介については、入会時に本人の意向をよく確認するとともに、引き続き事務所掲示板、シルバー広報等で就業会員募集情報の提供に取り組みました。

また、前年に引き続き接遇マナーの向上とトラブル防止を目指して接遇マナー講習会（24人）を開催しました。4年度の苦情件数は11件（目標5件以内、前年度8件）となり、前年度から3件増加しました。

## 6 普及啓発事業

シルバー事業を広く市民等に理解してもらうため、シルバーだより・広報・ホームページに写真やイラストを取り入れ、親しみやすい内容にしました。

また、「啓発用のチラシ」の新聞折り込み配布（4回）、理事等により産業まつり等のイベントやスーパー等でのティッシュ配布による啓発活動を行いました。さらに「いっせいボランティア」や「健康セミナー」にて知多メディアスに取材を受け、普及啓発に努めました。

## 7 その他

### (1) 調査研究事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、先進他市シルバー人材センターの視察研修をすることができなかつたため、蒲郡市シルバー人材センターの職員を講師に招いて、役員班長研修会を行ないました。

また、センター間職員研修を行い、南知多町シルバー人材センターと東浦町シルバー人材センターから事業運営や事務要領などを学び、事務局職員のキャリアアップを図りました。

## (2) 相談支援事業

入会希望者に対し、毎月第2、第4金曜日の定期に入会説明会を開催したほか、就業相談窓口を設置しました。結果、説明会参加者延べ151名（前年度109名）、入会者94名（前年度64名）となりました。

また、会員に対しては、シルバー広報等により、意見・要望を聞くことによって、円滑な事業運営に努めました。

## (3) ボランティア活動

シルバー人材センター事業普及啓発促進月間（10月）を中心に地域班ごとに保育園等の公共施設などの清掃・除草（11か所・124名参加）に加え、新たにいっせいボランティア（50名参加）を行い、社会奉仕活動とあわせて、センター事業への理解と周知に努めました。

## (4) 個人情報等の漏えい防止

理事会、班長会、地域会員集会等により、個人情報の適切な管理、取扱いについて説明しました。

## (5) 知多市高齢者能力活用会館の指定管理業務

平成31年4月から5年間、センターが知多市高齢者能力活用会館の指定管理者として指定を受けており、「公の施設」である会館の適切な維持管理に努めました。利用実績として、利用件数は508件（前年度526件）、利用者数は4,062名（前年度3,611名）と利用者数は大幅増となりました。